
TDSE、ドイツ Cognigy 社と業務提携

AI 製品「Cognigy」グローバル販売契約締結

テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社（以下、TDSE、本社：東京都新宿区、代表取締役社長 城谷直彦）は、AI 事業強化にむけ、ドイツ Cognigy 社（本社：ドイツ デュッセルドルフ、CEO：Philipp Heltewig）と業務提携し、対話型 AI 製品「Cognigy」を活用した AI ビジネスを開始したことをお知らせします。

TDSE 社は、高度な AI 技術をコアバリューとするデータサイエンティストや、業界・業務に精通した知識及びビッグデータ活用技術を保有するエンジニアを抱えるプロフェッショナル集団です。AI 構築ノウハウ及び経験を豊富に備えており、機械学習やディープラーニング技術を活用した独自開発の人工知能ブランド「scorobo®」を提供しています。

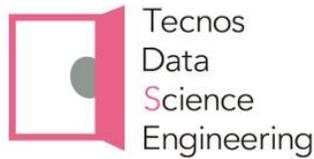
Cognigy 社は 2016 年にドイツで設立されたベンチャー企業で、米国シリコンバレーにグローバルオフィスを保有しています。彼らの提供する対話型 AI 製品「Cognigy」は、最先端の自然言語処理 (NLP) と自然言語理解 (NLU) 技術を強みとしており、従来型チャットボットのように「汎用型」や「特化型」に分類されるのではなく、これら分類のメリット部分を兼ね備えた「自由度の高いカスタマイズ機能」と「導入・開発スピードの速さ」の二つの利点を特長としており、欧米 AI 市場において急成長しております。

TDSE では、このたび Cognigy 社と AI 事業強化を目的として業務提携し、AI 製品「Cognigy」のグローバル販売代理店契約を国内初で締結しました。「Cognigy」が対応できる言語は、日本語・英語・ドイツ語など 15 カ国語に及びます。さらに他 AI 製品、BI システム、DMP システムなど外部システム連携も標準サポートしており、コミュニケーションツールである LINE・Facebook・Slack・WhatsApp・Twilio など現在 14 種類のアプリケーションとの連携も可能であり、ALEXA や GOOGLE の音声合成マークアップ言語 (SSML) にも対応できます (10 月 26 日現在)。海外では、大手自動車製造業・小売業などのグローバル企業数十社で導入され、現在国内でも大手数社で共同研究プロジェクトが始まっております。

今後 TDSE は人とサービス・人とモノが自然な言葉で接続し活用できるこの AI 製品「Cognigy」を弊社 AI 製品「scorobo」と連携強化することにより、欧米各国・アジアパシフィック圏へ展開していき、急成長する AI 市場を活性化させるビジネスとして発展してまいります。

以上

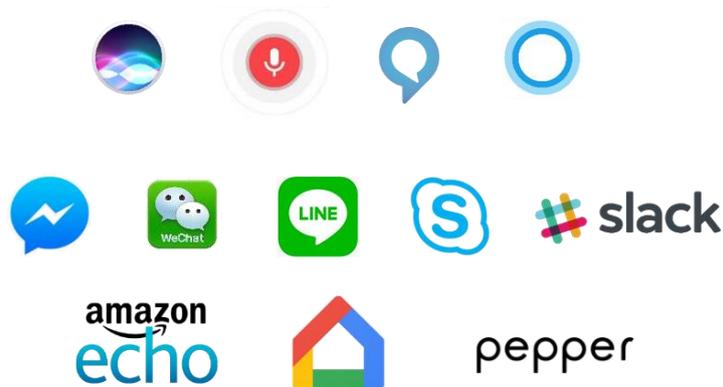
人とサービス・人とモノが自然な言葉で接続し活用できる社会作りを目指す



COGNIGY

CONVERSATIONAL AI

対話型AIと連携するシステム



注) 対話型 AI について

人が話す、語る自然会話（音声・テキスト）を理解し、適切な回答や処理を行うロボット AI の総称をいう。

■ 本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社

ソリューショングループ 池野

企画戦略グループ 黒田

〒163-1427

東京都新宿区西新宿 3-20-2 オペラシティタワー

電話：03-6383-3261（代表）

平日 9 時～18 時

E-mail：info@tdse.jp

24 時間受付